

「現場の保育士さんへ」

日本保育保健協議会 会長 三浦 義孝

新型コロナウイルス感染拡大は、今なお収束の見通しがつきません。

感染対策が十分に取れない中、日々戸惑いと不安の中で園児たちと過ごしている保育士の皆様、十分な支援体制も整わない厳しい状況の中での園の運営に、子どもや保護者を含め、強いストレスを感じておられる事と思います。

この状況下で一番大切なことは、園児の安全と安心の確保です。「十分な手洗い」「咳エチケット」「消毒」などを含め、園児への指導、保護者への啓発など、感染防止のために十二分の配慮をお願い致します。

そんな中、5月4日の読売新聞の気流欄の投稿記事に目が留まりました。佐野 壮宏さんという看護師の方の「娘の成長 保育園に感謝」と題した文、要約させていただきます。『3月に五女が保育園を卒園しました。小学校に入学して、食事前
に手洗いをしている姿を見て驚きました。医療現場で感染対策を担っている私から見ても、隅々までていねいに、完璧な手順で手洗いができていました。五女は、「保育園の先生が教えてくれた」と誇らしげでした。ただ預かるだけではない保育園の子育てに、改めて感謝の気持ちがこみあげました。ありがとうございました』

皆様の誠実な仕事への取り組みが伝わってくる一文に改めて感じ入りました。

もう少し、もう少し我慢しましょう。今はつらくても、園での楽しい時間は戻ります。十分なコロナウイルス対策をとり、全ての保育施設が解放され、園で自由に遊ばせてあげられる日が早く来るように、頑張りましょう。

(2020. 5. 5)